

くるみ保育園 保育士の自己評価 令和2年度

令和3年3月

子どもの発達援助 ア 養護

(2) ア-2 子どもが安心して自分をゆだねられるような配慮

- ・子どもの目線に寄り添い、話を最後まで聞き、気持ちを共感する (同類意見1)
- ・関係が出来るようたくさん遊び、子どもの気持ちを受け止められるようにする
- ・個にあったコミュニケーション・スキンシップを取り、信頼関係を築く (同類意見4)
- ・時間で動く中でもゆったりと甘えさせてあげられるようにする (同類意見1)
- ・信頼関係を築けるように仲良くなる
- ・子どもの気持ちを受け止める・声掛けをする (同類意見4)
- ・人手不足で今年は配慮まで行き届かず
- ・子どもの様子をよく観察する

子どもの発達援助 イ 健康

(2) イ-9 休息時、眠らない時、早く目覚めた時の配慮

- ・周りの子が起きないように静かに過ごせるようにする(絵本を見たり、音の出ないおもちゃ)
- ・個にあった休憩が取れるように配慮する
- ・目を閉じて布団でゆっくり横になるよう促す (同類意見1)
- ・おんぶや抱っこで安心させる (同類意見1)
- ・眠りにつけるように促し目覚めた時一緒に過ごす
- ・保育士のそばで絵本などを読んでいる (同類意見2)
- ・眠れなくても横になり体を休める (同類意見6)
- ・側にいたり背中をさすったりする (同類意見2)

子どもの発達援助 ウ 食事

(2) ウ-4 子どもが落ち着いて食事を楽しめるよう工夫しているか。具体例

- ・ある程度子どもの自由に食べてもらっている
- ・自分で食べられる量を決め、完食できる喜びを感じられるように促す
- ・音楽を流す (同類意見3)
- ・食事中は話さず、食べ終わってからマスクを着けてお話をする
- ・声掛けをする「美味しいね！」など声掛けをする (同類意見2)
- ・落ち着きて食べられるように環境を整える
- ・完食できたことを一緒に喜ぶ
- ・子どもが苦手な食材等「おいしい～」と食べて見せて興味が湧くように配慮している
- ・個々に合った量・ペースを考え、声掛けをしている

子どもの発達援助 ウ 食事

(2) ウ-10 食事に対して、意欲の少ない子への配慮

- ・嫌にならないように落ち着いた声掛けを意識しています（同類意見 1
- ・楽しい雰囲気です食事をし、意欲が高まるよう声掛けなど
- ・少量に減らし、完食できた喜びを味わえるように配慮して過ごした（同類意見 3
- ・ハンコを手に押すなどの楽しみをする
- ・食べやすいように食材を小さくする等工夫する
- ・食材・食事関連の図鑑を見せて説明をした（紙芝居や絵本も含む）（同類意見 2
- ・「栄養が入っていくから筋肉モリモリ」や「髪がサラサラできれいになれるよ」などの興味の持てる話をした
- ・食べられるように声掛けはするが無理に食べさせない
- ・個々に合わせ褒めて気分を乗せる
- ・会話を楽しみながら食への興味を持てるよう同じ食材を食べて、美味しいものを共感する
- ・食育で収穫した野菜を見せたり触れたりしている

子どもの発達援助 エ 人間関係

(2) エ-8 子ども同士がつながりを深めるための配慮

- ・遊びの仲介、見守り（同類意見 6
- ・遊びや活動の中で友達と一緒に一つの物を作り上げる喜びを感じさせる
- ・集団遊びを取り入れる（同類意見 2
- ・遊び以外でも共同作業を取り入れる
- ・きっかけを作り、友達の様子にも気付けるよう助言している
- ・片付け、手伝い、食事、その場に合った声掛けをしている（同類意見 3
- ・子ども達のみで話す機会を作っている
- ・お互いの気持ちを声に出して伝えられるよう声掛けをしている。

(2) エ-9 子ども同士がつながりを深めるために、どのような配慮をしていますか

- ・上のクラスでは行事への取り込み課程において、そのような機会が生まれている（同類意見 1)
- ・子ども達の「やってみたい」という気持ちを大切に、必要に応じて援助を行うようにする
- ・ゲーム活動等の遊びを通して（同類意見 2)
- ・お片付けやブロック遊びで協力し合ってやっている
- ・おもちゃを組み立てたり、同じものを作り一緒に喜ぶ
- ・劇遊びや大型作品作りなど良い機会
- ・運動会などの行事、毎月の標語づくり

子どもの発達援助 オ 環境

(2) オ-2 遊びのスペシャリストになっっていますか★どのように努力をしていますか

- ・新しいパネルシアターなどを取り入れた、手遊びなどを取り入れている
- ・子どもと共感したり、驚いたりとその時々を感じるようにする
- ・たくさん手遊びやタッチゲームを取り入れる
- ・新しいゲームを調べ声掛けなど行う
- ・子どもの興味のある遊びを率先して楽しむ姿を見せる。率先して楽しむ（同類意見 2）
- ・盛り上げたり、「いいね！」と声掛けしている
- ・新しい遊びを提案している、やってみる（同類意見 1）
- ・自由な活動だけでなく、素材を使った遊びを取り入れている
- ・自分の引き出しを増やす
- ・子どもから日々学ぶ
- ・研修や他の講習・活動から色々な経験を学ぶ

(2) オ-9 子ども発達に適した玩具や遊具を用意し、好きな遊びが出来るように工夫している点は

- ・お人形など使って、手先も器用になるよう工夫している
- ・安全性など気を付けている
- ・周りにある物でその時々合ったものを選ぶ
- ・ままごと遊びが発展するよう、レジやケーキ等の玩具を手作りして過ごしました
- ・子ども達に何で遊びたいか希望を聞いている（同類意見 3）
- ・月齢によって合うものをそれぞれ用意したりする（同類意見 2）
- ・小さい乳児がいるときはサイズが小さい物は出さないようにする
- ・遊具が毎回同じにならないように、他クラスから借りたいしてくる（同類意見 1）
- ・マグネット玩具など知育玩具を使用
- ・興味を持っている物を用意する
- ・塗り絵のコピーなども用意する
- ・手作りおもちゃ作成
- ・子ども達が興味を持っている季節の遊びを取り入れる

子どもの発達援助 キ 表現

(2) キ-9 ごっこ遊びを発展させるのにどのようなことをしていますか

- ・ごっこ遊びに加わり一緒に楽しむ、保育士が率先して楽しむ（同類意見 1）
- ・役を付けて楽しむ
- ・ままごと、ぬいぐるみなどを用意する
- ・興味を持っている物を使って遊んだり、話しをふくらませる

子どもの発達援助 キ 表現

(2) キ-9 ごっこ遊びを発展させるのにどのようなことをしていますか

- ・「いらっしゃいませ」「1つください」「ありがとうございます。」などのお店屋さんごっこの言葉を子ども達と遊びの中で伝えたりしている
- ・一人一人の個性を大事にする
- ・スペースを広く取れるようにするなどしている
- ・様々な提案をしながら一緒に遊んでいる
- ・保育士も遊びに加わり、徐々にメンバーを増やすようにしている（同類意見1）
- ・その時々合った道具を用意する
- ・子ども達の様子を見守りながら発展する場面で提案をするなど

子どもの発達援助 ケ 長時間保育、延長保育

(2) ケ-5 異年齢の子ども同士で遊べるように配慮されていますか、どんな遊びを工夫していますか

- ・午後から一緒にごっこ遊びをするようにしている
- ・ままごとやブロックなど玩具を工夫する。一緒に使える玩具にする（同類意見1）
- ・年齢が上の子は机でも遊べる物を出して、スペースを作る
- ・午後の時間は他の学年といっしょに過ごしている
- ・言葉の足りないところを補足したり、思いを汲みとれるようにしている
- ・ルールのある新しい遊びを取り入れる
- ・月齢に合わせた玩具の提供、戸外での十分な活動（同類意見2）

保育を支える組織的基盤 ウ 職員の資質向上

(4) ウ-6 あなたの考える最善の利益とはどのようなことですか

- ・身体的・精神的に健やかな状態でいれること（同類意見1）
- ・子どもの想いに共感し受け止めること
- ・子ども主体の保育（同類意見1）
- ・保育士や友達との信頼関係を築けること
- ・子どもの安全
- ・心の落ち着く環境で自分を発揮できること
- ・子どもの為を思って話をする
- ・子どもが安心できる環境を作る。過ごせる（同類意見1）
- ・子ども達が毎日幸せに過ごせること
- ・月齢・年齢に合った生活を通えること
- ・生命・心身の自由が保障され伸び伸びと過ごせる
- ・子ども達が楽しく園生活を送り、その中でより良く発達を促し皆で成長を喜び合えること
- ・自分で出来ることを増やし、自己肯定感を高められるよう関わっていくこと
- ・子どもが保育者に何で言える。毎日登園を喜んでいる。家庭との連携も取れている